

令和 7 年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	80	松本蟻ヶ崎	高等学校	全	課程	普通	科
----------	----	-------	------	---	----	----	---

学校教育目標	道徳教育の重点目標
1 日々の授業を重視しながら、クラブ活動との協調的展開を志向する。 2 生徒の多様な進路希望を実現すべく、創意工夫と相互協力を旨とした教育を実践する。 3 生徒の自主活動を効果的に支援し、偏りの無い人間像の確立に努める。 4 いじめや体罰のない、生徒が安心して学校生活をおくることができる安全な学校づくりをする。	1 本校生としての自覚を持ち、校内外における諸活動を通して、自立心や自律性を高める。 2 生命や自然を尊重する心を育み、社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う。 3 人権感覚を養い、自他の在り方、生き方を尊重する心を育てる。それにより、いじめの防止に資する。 4 伝統と文化を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身につける。
重点目標	
1 文武両道を目標とした時間の有効活用を図る 2 多様な希望に沿った進路実現に向けたカリキュラムの改善に取り組む 3 主体的な挨拶と清掃に取り組む 4 安心安全な学校を目指す	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1 年	◆基本的生活習慣を確立し、充実した学校生活を主体的に送ることができるようにする。 ◆生徒の進路保障のために、基礎学力をつける。 ◆自ら考え、自ら行動する力を育成する。	キャリア教育や人権教育を通して、将来の職業観を養い、「人間を大切にする」気持ちを育てる。 ○キャリアガイダンス ○進路探究 ○課題研究 ○文理選択	仲間と協働する中で、他者を尊重し、自ら考え、自ら行動する態度を育む。 ○スマホ使い方講座 ○合唱コンクール ○性教育講話 ○人権学習	◆生徒会行事や部活動を通して人間力を高め、人との絆や信頼感を形成し、生きる力や自己肯定感を育む。 ◆地域社会や環境活動への広がりをを持った取り組みを行う。 ○文化祭	国語	ことばの重要性を認識させ、他者との関わり合いの中でコミュニケーション能力を高め、思考力、想像力を養う。
2 年	◆基本的生活習慣を確立し、充実した学校生活を主体的に送ることができるようにする。 ◆生徒の進路保障のために、基礎学力をつける。 ◆自ら考え、自ら行動する力を育成する。	キャリア教育をとおり、将来の職業観を養うとともに、人権感覚・コミュニケーション能力を高める。 ○進路探究 ○大学見学 ○課題研究 ○各種職業体験活動 ○類型別科目選択 ○研修旅行	仲間と協働する中で、他者を尊重し、自ら考え、自ら行動する態度を育む。また、校内における諸活動の中心であるという自覚を持たせ、指導力・協調性・企画力などを育む。 ○合唱コンクール ○人権学習 ○研修旅行	◆生徒会行事や部活動を通して人間力を高め、人との絆や信頼感を形成し、生きる力や自己肯定感を育む。 ◆地域社会や環境活動への広がりをを持った取り組みを行う。 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○ボランティア	地理歴史	社会との関わりや歴史を通し、課題を追究することによって、想像力、判断力や人権感覚を育む。
					公民	社会の仕組みや課題を知ることによって、想像力、判断力や人権感覚を養い、人間としての在り方、生き方を考える。また、地球規模の諸課題を解決しようとする態度を育む。
					数学	数学的な見方、考え方を養い、知的好奇心や思考力、粘り強く考える態度を育む。
					理科	自然の事物や現象を探究する活動を通して、思考力、判断力を養い、真理を探究しようとする態度を育む。
					保健体育	心身の健康や安全管理に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような態度を育成する。
3 年	◆さらなる学力の向上を図る。 ◆基本的生活習慣の定着をさらに進め、支援を必要とする生徒には個別に対応する。 ◆学習・課外活動両面で自主性・主体性の確立をめざし、学習と特別活動の両立をめざす。	より文化的で、暮らしやすい社会の形成者としての自覚を持ち、自他を尊重し、進路希望実現のために学ぶ姿勢を養う。 ○進路探究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸問題を主体的に解決しようとする意欲と態度を養う。 ○合唱コンクール ○人権学習	◆生徒会行事や部活動を通して人間力を高め、人との絆や信頼感を形成し、生きる力や自己肯定感を育む。 ◆地域社会や環境活動への広がりをを持った取り組みを行う。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア	芸術	芸術文化に対する理解を深め、尊重する態度を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。
					外国語	多文化に対する理解を深め、尊重する精神を育む。英語を通じて多様性を受け入れる素地を養う。
					家庭	大きく変容していく社会の中で、未来をつくる人として、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育成する。
					情報	主体的な学びと情報活用能力の育成を図る。コンピュータの実習を通し、協働しながらの学びを目指す。
					総合的な探究の時間	探究活動を通して、生徒自ら課題を持ち、主体的、協働的な取り組みにより、解決していく力を養う。

家庭・地域との連携	◆地域社会との連携を深めながら、生徒が主体的、自律的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ◆家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自他を尊重する心を育み、より文化的で、暮らしやすい社会の形成者としての自覚を高める。
-----------	---